

2016

ぶうげん びりあ


 10
月号

No.280



心を形に…

校長 佐藤 優

空はどこまでも青く高く澄み、母島にさわやかな季節がやってきました。2学期になって、1ヶ月が経ち、子供たちははつらつと学習活動に取り組んでいます。母島小中学校の子供たちは元気です。

さて、東日本大震災の折、AC広告機構のCMで、詩人の宮澤章二さんの作品「行為の意味」の一部が何度も流されていました。朝会で子供たちに話したことがあります。全文を紹介いたします。

行為の意味

宮澤 章二

—あなたの〈ころ〉はどんな形ですか
とひとに聞かれても答えようがない
自分にも他人にも〈ころ〉は見えない
けれどほんとうに見えないのであろうか

確かに〈ころ〉はだれにも見えない
けれど〈ころづかい〉は見えるのだ
それは 人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中の〈思い〉は見えない
けれど〈思いやり〉はだれにでも見える
それも人に対する積極的な行為なのだから

あたたかい心が あたたかい行為になり
やさしい思いが やさしい行為になるとき
〈心〉も〈思い〉も初めて美しく生きる
—それは人が人として生きることだ

「行為の意味—青春前期の君たちに」より

この詩では、1人1人の〈ころ〉や〈思い〉は、もっているだけでは相手に伝わらないこと。それを「人に対する積極的な行為として表すこと」で、自分の〈ころ〉が〈ころづかい〉になり、〈思い〉が〈思いやり〉になって、相手に伝わることの大切さを表現しています。

人は互いに支え、支えられながら社会の中で、思いやりというあたたかい心に包まれて生きています。学校でも日々様々なことが起こりますが、その時こそちょっとした思いやりやあたたかい心が意味をもちます。たとえささやかな行為や思いであっても、そのことが、相手の心に響く時、そのぬくもりが周囲に波及し、よりよい学校生活を築く原動力となるでしょう。

学校は集団で生活する場です。子供たちがお互いに、辛そうにしている子、困っている子に優しく声をかけることや、トイレのスリッパを人のために揃えたり、教室や廊下に落ちているゴミを自分から拾ったりするなど、ほんの少しの心づかいを発揮することで、母島小中学校は思いやりにあふれていくことでしょう。

子供たちは、あたたかい心や優しい思いをもっています。しかし、優しい心をもっている子供たちでも、思いやりの行動が伴わないと相手にはその良さが見えないので

す。つまり、気持ちの上に、行動で示し表現する力を付けさせていかなければなりません。

子供たちの優しいあたたかい心を育むためには、まず、子供たちの心を耕すことが大切です。学校では、道徳の授業、様々な体験活動、読書、何より人との関わりを通して心を耕しています。来る10月16日（日）には、道徳授業地区公開講座を本年度も実施いたします。当日は、『相互理解・寛容』を主題に、小中全学年の道徳の授業を通して自分の生活や生き方について考える授業を行います。心を形にする、行動に移していく学びの様子をぜひご覧ください。

保護者の皆様、地域の皆様と共に、これからもあたたかい心のあふれる学校づくりを推進していきます。引き続き、ご支援、ご協力をお願いいたします。

大自然に包まれた石門校外学習

中学校第3学年担当 松木園英理

これまで私は、人が登るために綺麗に整備された道ばかり歩いてきた。しかし、石門はこちら側が「おじゃまします。」と言いたくなるような自然のための道だった。ここで私たちはたくさんのことを学ぶことになる。

芝崎敏行さんの案内で見つめる石門の世界は、非常に表情豊かだった。外皮が取れて、地面に横たわるマルハチ。力強く、真っ直ぐ天に向かって伸びるイメージしかなかったが、



たが、からっとした中味を見せて横たわる姿はなかなか渋く、趣深い。そのかたわらにはシダが一面に生い茂る。一見どれも同じに見える彼らも、触ると種類の違うものだと気づく。やがて旅立つ孢子たちを優しく包み、風に踊るシダたち。陽光が少ないところも巧みに生き抜く力強さを感じた。急な斜面で、根を張り踏ん張っているタコの木。母島であまり見られなくなった蝙蝠が運んだのかもしれないとのこと。彼らが母島の山の景観を作

っているのかと思うと、なんとも不思議な感じがした。しばらく歩くとラピエが見えてくる。かつて海底にあったサンゴたちが今は山の一部となり、木々をのせて静かに呼吸している。地球のもつ、途方もなく大きなエネルギーを感じた。近くには大きなウドが立っていた。堂々とした姿に圧倒されていると、〇〇さんが提案を出してきた。

「みんなで囲ってみよう！」3学年の教員と〇〇さんと、ウドの大きさに挑むことになった。「う〜ん…さすがに届かないのでは…？」と諦めモードになっていると、「いや、絶対届く！」と〇〇さんの声。その言葉を信じ、4人が精一杯両手を広げると、見事幹を包みこむことができた。



帰り道。行きと同じ道を歩く。一度歩いてきた道なので行きよりも楽に進むと思っていた。ところが疲労からか、油断からか、同じ道が険しく見えてきた。慎重に歩いていたはずの〇〇さんが転んでしまった。膝を痛めたが、痛みよりも悔しさが勝るようだ。それらの思いをバネに芝崎さんからスティックを借りて、

ゴールを目指す。「ここで転んだら、匍匐前進してでもゴールにたどり着く。」そう断言し、自分自身の歩みでぬかるんだ道を一歩一歩進みゴールした〇〇さん。母島の自然はそんな彼女の今後の歩みを、時に厳しく、時に優しく見守ってくれることだろう。



笑いたい！楽しみたい！西浦探検隊！！

小学校3年担任 盛川 理恵

総合的な学習の時間の一環として9月23日金曜日、3年生6名は西浦校外学習に行ってきました。6月の乳房山では世界遺産としての母島の豊かな自然、植物や生き物を知ることがテーマとして学習を進めました。今回は、他では味わえない母島ならではの活動を自分たちで計画し、実行していくことを大きなテーマとしています。

子供たちが選んだ活動にそれぞれ隊長が就任し、事前準備を進めてきました。活動は全部で6つ、「ガジュマルで遊び隊！」「滝にうたれ隊！」「洞窟に入り隊！」「釣りをし隊！」「おいしい料理を作り隊！」「拾ったもので工作し隊！」です。釣り竿を作ったり、魚のさばき方を習ったり、これまでがんばりました。

当日は、1年生の時に担任してくださった稲垣美智子先生をゲストティーチャーにお迎えして総勢11名で出発。途中雨に降られることもありましたが、どの活動でも元気いっぱい！冒険の旅を満喫することができました。丈夫なガジュマルはぶら下がっても大丈夫なこと、魚のひれは



硬くてケガをすることもあるので気をつけること、ペットボトルキャップで鱗が簡単に取れること、鍾乳石が長い時間をかけて成長していること…どれも心と体で、そして仲間といっしょに味わっていけるなんて、本当に素敵なことです。この体験を糧としてますます「母島っ子」として成長してほしいと願っています。

にこにこ学級の紹介

小学校1年にこにこ学級担任 江澤 千佳

にこにこ学級は、〇〇君のために今年度新設された特別支援学級です。〇〇君は、脳性まひという障害があります。脳性まひとは、生まれたときに脳の運動神経に障害を受けることでおきます。そのため、筋肉を思うように動かさせません。そこで、特別な訓練をして上手な体の使い方や運動の仕方、お話しの方を学んでいきます。〇〇君も内地での訓練を頑張ってきました。

〇〇君は、みんなと同じように座ったり、歩いたり、お話ししたりすることができません。でも、特別な椅子や歩行器などを使って〇〇君の方法で字を書いたり、歩いたりしてみんなと一緒に学習することができます。ときには、近くにいる人のシャツや髪の毛を引っ張ってしまうこともあります。自分の意思とは関係なくしてしまっていることなので許してくださいね。

〇〇君からのみんなへのお願いです。第一に、車椅子に座っていると後ろが見えません。後ろや頭の上から大きな声や音がすると怖いです。前から、〇〇君の目線で話かけてもらえると安心できます。第二に、免疫力がみんなより弱いです。〇〇君と接するときは、特に手洗いをしっかりしてください。また、口から感染してしまうので、顔は触らないようにしてください。第三に、車椅子などは、〇〇君の体に合わせて作った繊細で高価なものです。寄りかかったり、ぶつかったりしないように気をつけてください。言葉は話せませんが、「青がいい？赤がいい？」などと聞いてもらえると、表情や声で答えられます。答えるまでに時間がかかることもあるので、ちょっと待ってくださいね。

〇〇君は、にぎやかなこと、楽しいことが大好きです。気軽に声をかけてください。

10月行事予定

日	曜	
1	土	都民の日
2	日	
3	月	【中】中間考査1 【小】委員会
4	火	【小】ベーシックタイム 【中】中間考査2
5	水	【小】朝読書 【中】後期生徒総会6h
6	木	【小】ユネスコ集会
7	金	【全】ベーシックタイム 【小4】北村校外学習部活動
8	土	英語検定 フラオハナ
9	日	御嶽神社祭礼
10	月	体育の日
11	火	小中朝礼 PTA 陶芸教室
12	水	【小】朝読書 PTA 陶芸教室 S C 在島
13	木	【小】児童集会【中2】研究授業 (中2以外5時間授業)
14	金	【小4】北村校外学習予備日
15	土	
16	日	日曜学校公開 道徳授業地区公開講座 【小】委員会
17	月	振替休業日
18	火	朝礼(安全指導)(デザートの日※または25日) 学校運営連絡協議会
19	水	【小】朝読書(学芸会のため体育館利用停止 始) PTA 学芸会練習
20	木	【小】児童集会
21	金	【全】手作りお弁当の日
22	土	
23	日	
24	月	朝礼(保健指導) 【小】クラブ
25	火	避難訓練
26	水	【小】朝読書
27	木	【小】児童集会
28	金	【全】ベーシックタイム 学芸会リハーサル
29	土	漢字検定 PTA 文化部(窯入れ)
30	日	
31	月	PTA 学芸会練習

10月の生活目標

「自分から進んで働こう」

- ・周りの人に感謝しよう。
- ・力を合わせて仕事をしよう。
- ・社会に役立つ大切さを理解しよう。

10月の安全指導 18日(火)

「刃物の扱いと道具の借用・返却について」が重点指導目標です。

今月は学芸会に向けて道具を作るなど、刃物を使用する機会が増えます。

先生に無断で使用する事のないよう、ルールを守り、安全に気を付けて使い、きちんと返却するよう指導を徹底します。

10月の避難訓練 25日(火)

校内火災発生を想定した避難訓練を行います。今回は児童生徒への訓練開始時刻の予告はしません。

緊急時に落ち着いて素早く避難できるかなど、普段の訓練の成果を確認する機会にしたいと考えています。

日曜学校公開 道徳授業地区公開講座

16日(日)

地域の皆様に母島小中学校の教育活動をより理解していただき、連携を深め、子供たちの健全な育成に努めてまいります。どうぞ、ご来校ください。

当日の予定

〈1～3校時〉 道徳授業 公開

〈4校時〉 講演会

テーマ

「関わろう・知ろう・受け入れよう」

講師 小笠原村教育委員会 指導主事

小平 秀朗 先生

平成28年度 学芸会

日時 平成28年11月3日(木 文化の日) 開演 8:45

※プログラムは、11月号の「ぶうげんびりあ」と一緒に配布する予定です。